

平成25年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	(水道)公共下水道関連事業			
予算科目	1 款 1 項 1 目			
総合計画での位置付け	住環境の整備と生活安全の確保～はつらつ住みよいまちづくり～ 生活環境の整備			
所管課情報	担当課: 水道課		電話番号(内線): 713	
記入者情報	所属長: 隅田 英久		担当責任者: 堀内 英幸	
実施期間	【開始年度】平成 17 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	市民(上水道加入者)			
事業の必要性	公共下水道工事に伴い支障となる水道管の仮設および移設工事を行うことにより破損事故を防止し、水道利用者へ水の安定供給を図ることができる。			
施工方法、場所	【施工方法】 請負	【施工場所】 伊予市上水道給水区域(公共下)		
運営方法	【運営方法】			【運営費(予定)】
事業の目的	安全で安心な水を需要者に供給する。			
事業の内容	公共下水道工事に伴い支障となる水道管の仮設および移設工事を行う。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)				
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項目	24年度決算	25年度予算	9月末の執行状況	25年度決算	
事業費	直接事業費	18,892	38,700	681	20,303
	人件費	4,639	5,287	162	5,287
	合計	0	43,987	843	25,590
人件費 内訳	人工数	0.58	0.65	0.02	0.65
	人件費単価	7,999	8,135	8,135	8,135
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	4,639	5,287	162	5,287
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	23,531	43,987	843	25,590

実施スケジュール							
項目	24年度以前	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度以降
布設替工事	30,300	38,700	30,000	30,000			
年度別事業費	30,300	38,700	30,000	30,000			
財源	国・県支出金						
	地方債						
	その他	20,900	34,400	20,000	20,000		
	一般財源	9,400	4,300	10,000	10,000		
国・県支出金等名称							0

成果指標				
成果指標	実績数値のみを記載する。			
指標設定の考え方	公共下水道布設工事に伴い発生する配水管布設替工事であり、成果指標設定は困難である。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目 標	0	-	-	0
実 績	-	-	-	-

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	5	
課題認識	公共下水道布設工事に伴い発生する配水管布設替工事であるため、下水道工事の発注時期を把握したうえで発注する必要がある。しかし、下水道工事に変更が生じた場合、見直しが必要となるため、即時対応にやや困難な面がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	公共下水道工事の施行に伴い発生する必要不可欠な工事であることから、関係部署と密な連携を取り、一体性を持った工事の進捗に努めなければならない。また、今後は老朽管の更新や管路の耐震化等整備・拡充事業にも鋭意取り組む必要があることから、公共下水道事業の推進状況を十分把握して年次計画等を策定し、これら事業の展開を図る必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題